

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 高齢者が「しあわせ共感」する鶴ヶ島市に（60分）</p> <p>今年、100歳以上の人は9万2139人になりました。53年連続で過去最多を更新しました。日本人の2022年の平均寿命は女性87.09歳、男性81.05歳でした。女性は世界1位、男性は同4位と、世界でトップクラスです。</p> <p>しかし、平均寿命は男女とも2年連続で前年を下回りました。厚生労働省は、新型コロナウイルスの影響が大きかったと分析しています。コロナの感染拡大は、政府の失政が続いた結果、多くの命が失われました。感染症から国民を守る医療と公衆衛生の仕組みを強めることが、長寿社会の基盤であることを示しています。</p> <p>食料品をはじめ生活必需品の物価高騰が高齢者を直撃しています。収入の頼みの綱である公的年金は抑え込まれています。健康を心配しながら生活のために働き続ける高齢者は数多くいます。長生きするのがつらくなる社会になってしまったのではないのでしょうか。</p> <p>2015年に朝日新聞経済部により編集・出版された『ルポ 老人地獄』と名づけられた新書版の帯紙には「それでも長生きしたいですか？」とのショッキングなキャッチコピーと以下のような内容が紹介されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女混じって夜は雑魚寝、汚物の処理もしない「お泊りデイサービス」の惨状 ・古い空き家を利用した無届け老人ホームが日本各地に増殖中 ・老後の沙汰はカネ次第。安い特養は数十万人待ち、有料老人ホームは高くて手が出ず ・施設にカネを落とすよう誘導するひもつきケアマネ ・特養や老健の約2割で老人虐待が横行 ・夫婦で年金30万円でも、病気をしたらたちまち下層に転落 ・貧困老人からも保険料を強制徴収する地方自治体 <p>これがどの自治体にも当てはまる事態とは言えないまでもまったく無関係と言えない事態もあるのではないのでしょうか。</p> <p>「ピンピンコロリで逝きたいな」、「夫婦2人で老後に2000万円必要」など高齢者には心配の種が付きません。</p> <p>長寿命化は人類の医療科学の勝利です。高齢者が「個人として尊重され」「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」が保障され、幸せに天寿を全うするよう努めるのが福祉増進を本旨とする地方自治体の役割ではないのでしょうか。</p> <p>本市は高齢者実態調査、第6次総合計画後期基本計画の策定のための市民意識調査、転出・転入アンケート等を実施していますが、そうした調査などから見える高齢者を巡る実態と高齢者の「しあわせ共感」を実現するための施策について以下質問します。</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<ul style="list-style-type: none">(1) 世帯構成の趨勢と見通し(2) シルバー人材センターの会員数(3) 年金の趨勢と見通し(4) 公的医療の保険料（税）、医療費負担の変遷と見通し(5) 介護サービスの利用状況(6) 介護保険料と利用料の変遷と見通し(7) 住居の現状(8) 移動手段の現状と見通し(9) 生活保護の現状と見通し	